

当のおのが担当障害分野ことに研究主題を持ち、個人研究を進めた。

## 第5節 教育図書・資料の収集・提供事業

### 1 教育図書・資料の収集・整理

当センターでは、養護教育に関する研修・研究・相談事業の充実と、県内各学校等における研究活動及び教育実践に寄与できるよう、教育図書・資料の収集・整理を行い、心身障害児教育に関する図書・資料のセンター的な機能を果たすよう努めた。

#### (1) 教育図書の収集・整理

教育図書については、養護教育に関する専門図書の充実に努め、本年度43冊を新規に購入した結果、蔵書数は4,458冊となった。その種類は、心身障害児の教育関係図書が、2,803冊となり、医学関係図書が320冊、心理関係図書が135冊、その他の図書が1,200冊である。これらの図書はNDCの分類基準に従い分類・配架されていて、いつでも利用できるようになっている。

また、五十音索引カード及び分類記号索引カードが完成したので、図書の検索がいっそう便利になった。

#### (2) 教育関係定期刊物の収集・整理

教育関係定期刊物は、県費購入及び寄贈などにより、38種類で680冊に達した。

#### (3) 教育資料の収集・整理

教育資料は、全国の関係機関や県内の教育機関の協力により、研究紀要・研究報告書などの収集に努めており、集まった180冊余りについて「教育資料分類基準」に従って分類するとともに、県内の資料については、更に、学校別に分類し、配架した。

### 2 教育図書・資料の利用

本年度の図書・資料の利用者は、当センターの研修参加者を含め、県内の養護教育に携わる教職員によって利用されてきた。また、わずかではあるが、障害児を抱えた一般県民の利用もみられた。

その利用者は、246名で、図書・資料の貸し出し冊数は、348冊であった。

## 第6節 広報・啓発事業

養護教育センターの事業内容及び所内における調査・研究の成果を紹介、普及させるとともに、学校及び社会の養護教育に対する理解・認識を深め、もって人間性を重視した学校教育を推進するための情報資料の提供を図った。

## 1 所報養護教育

### (1) 編集方針

年間5回(第6号～第10号)発行。養護教育センターの各種事業内容、養護教育に関する新動向等の紹介

### (2) 内容

巻頭言、論説、特集記事、講演紹介、研究実践校の報告私のアイデア、医療の窓、心身障害児総合療育センター紹介、用語解説、随想、施設・備品紹介、創作教材・教具紹介、図書・資料紹介、長期研究員から、研修者の声

### (3) 規格・ページ・部数

- ① 規格 B5版
- ② ページ数 毎号16ページ
- ③ 部数 毎号1,500部

### (4) 配付対象

教育庁各課・所・館、市町村教育委員会、公立幼・小・中・高・特殊教育諸学校、知事部局関係各課、各都道府県政令都市特殊教育センター、国立特殊教育総合研究所、報道機関等

## 2 養護教育センター案内パンフレット

### (1) 編集方針

養護教育センター利用者のための案内

### (2) 内容

- ① 教育相談  
相談対象、相談の内容、相談の申し込みの手順
- ② 巡回就学相談 — 県内6地区6か所における相談
- ③ 地域相談室 — 県内3地区(福島、会津若松、いわき)における相談
- ④ 研修・研究 — 17講座の紹介と研究開発の予告
- ⑤ 図書・資料の収集提供 — 4,400冊余の図書の貸出しと教育資料の刊行

### (3) 規格・ページ・部数

B4版 三つ折 1,500部

### (4) 配付対象

市町村教育委員会、公立小・中学校特殊教育設置校、国立特殊教育諸学校、公立教育関係機関

## 3 巡回就学相談実施案内パンフレット

### (1) 編集方針

遠方のため来所が困難で心身に障害のある、幼児・児童の保護者及び関係機関に対する就学・教育相談の案内

### (2) 内容

- ① 相談の対象
- ② 相談の申し込み手順及び方法
- ③ 教育機関及び地域相談室の案内

### (3) 規格・ページ・部数

B4版 二つ折 3,000部

### (4) 配布対象

教育庁各課・所・館、市町村教育委員会、公立幼・小・特殊教育諸学校、保育所、私立幼稚園等